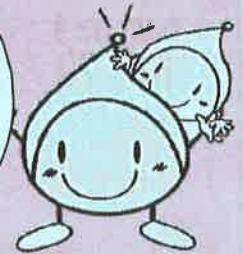


ささえ

奇数月発行

協働とは一緒に決めて、一緒に実施することです。責任と役割を分担するためにも、お互いに信頼関係をつくらなければならない。



エールくんとミニさぼちゃん

協働提案事例紹介

昨年度より協働のまちづくり提案事業を募集し、行政、企業、テーマ型市民活動団体で実施された事例を紹介します。

Part 1

"英語観光ガイド養成による外国人観光客誘致と地域の活性化"



岩国観光ガイドボランティア協会×岩国市観光振興課

動機

- ・外国人観光客に対して受け入れ態勢を充実し、より多くの訪問客に岩国の魅力や日本固有の文化と日本の良さを紹介するために、英語観光ガイドの養成が必要となる。
- ・広島や宮島を訪れる外国人観光客の増加が見込まれ、岩国の観光客の誘致が期待できる。
- ・岩国米軍基地在籍者のニーズが拡大している。

実施経過

- ・英語観光ガイドを募集し、2015年11月から2016年3月まで養成講座を実施した。(月2回、2時間)
- ・現在9名の英語観光ガイドが岩国市長より認定された。
- ・岩国基地アメリカ人ボランティアを錦帯橋付近で実施ガイドをした。
- ・4月から英語観光ガイドを開始した。

今後の計画

- 観光振興課との協働
- ・外国人観光客からの予約依頼のシステムを作成中。
 - ・外国人観光客のアンケート調査を行い、ガイド実績を把握し今後の活動に活用する。
 - ・英語観光ガイドがいる事を外国人観光客に対して情報発信を検討している。



Part 2

路線バス散歩～公共交通の存続を願って～

いわくにの会×いわくにバス(株)×地域交通課



協働提案することで、いわくにの会は「路線バスを本気で存続させたいと考えていることを行政と市民の方々に知ってもらいたい。」そして「路線バスの乗り方パンフレットを作って配布すれば利用しやすくなる。」と思い、地域交通課や高齢障害課(敬老優待乗車証を発行している課)と話し合いました。その結果、3月26日ダイヤ改正時にいわくにバス(株)の路線図・ご利用パンフレットに挿入する形で「往復200円で遊ぶ路線バス散歩(敬老優待乗車証を使って)」が出来ました。このパンフレットはバスの中や切符売り場等においてあります。

今後、乗車する側からの見やすい時刻表の提案をし、路線バスを使って地域散策を提案します。



「往復200円で遊ぶ路線バス散歩<敬老優待乗車証(1乗車100円)を使って>」の中より

終点まで行ってみよう!
(潮風公園・錦帯橋・岩国駅)

- ☆帰りは、ここが始発になります。バスは遅れることなく時間通り出発します。
- ☆座れる確率も高いです。



路線バスに乗る時の注意点!

1. 平日と土日祝日はバスの時刻が違います。
2. 目的地に着いたら、帰りのバス停の場所と時刻をまず確認。
3. 敬老優待乗車証をお持ちの方は携帯しないと一般のバス料金になります。

敬老優待乗車証をもっと使って! (1乗車100円)

路線バスは危機的な状態です。敬老優待乗車証を使ってバスを利用している皆様をお願いします。是非、車に乗っているお友だちや近所の方と路線バスに乗ってお出かけください。乗り慣れていないと不安になります。

取材に行って
きました!
No. 79

は ろ ん 学びと集い 場lon

「楽しく働く人」を増やしたい。そのために学びを促進し合う場を作っています。



『学びと集い 場lon』は平成28年に設立された新しい団体です。会員数は現在6名。「学び合い支え合う場を提供することにより、楽しく働く人を増やすこと」を目的としています。今回は第2回目の「読書会」にお邪魔しました。(※読書会とは・・・何人かで共通の書物を読み、感想や意見を発表し合う会のこと)

まずは、このたび「楽しく働くための読書会事業」が、『岩国市みんなの夢をはぐくむ交付金』の対象事業に選ばれたという紹介がありました。代表の岩田さんが、市役所で行われたプレゼンの様子を再現。

その内容は、『読書会を開催することが、場lonの設立目的である「楽しく働く人を増やす」ことに繋がる』というもので、楽しく働くために必要な貢献感、達成感、仕事観、人生観などを養うために、主に仕事に役立つ本を課題本に選定し、定期的に読書会を開催されているのだそうです。

ファシリテーター(会議を円滑に行うポジション)の岩田さんの仕切りで、時に真面目に、時に面白おかしく、とても和やかな雰囲気です。5人のそれぞれの意見がホワイトボードに書き出され、今日のナンバーワンを決めるために意見を交わされています。

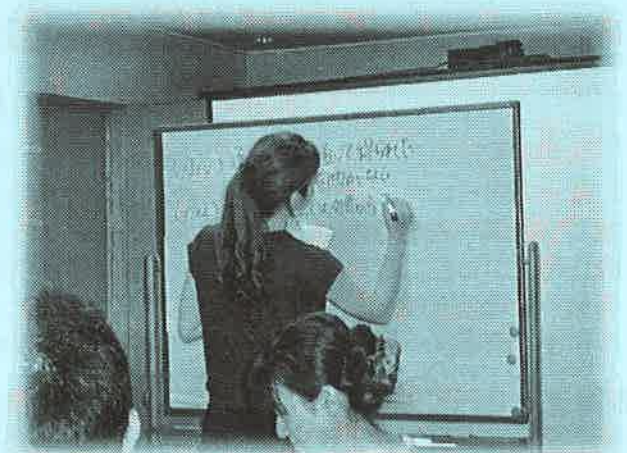


和やかな雰囲気です。まずは代表の三木さんによる課題本のあらすじ紹介。プロジェクターで大きく映写されている画面を観る姿は皆さん真剣そのもの。課題本を読めずに参加した私にとっては学習になり、読んで参加した人にとっては復習の時間になりました。その後、少し時間を取って、印象に残った文章をそれぞれが書き出し、ディスカッション。意見を出し合い、この回で一番印象に残った文章を全員で決め、今回の読書会が終了。気が付けば1時間があっという間に過ぎていました。



左から代表の三木さんと岩田さん
右から代表の中川さんと会員の河本さん

今回の課題本は『嫌われる勇氣 自己啓発の源流「アドラー」の教え』(岸見一郎・古賀史健 著)。参加者は会員4名と一般2名。参加者の方々の持参された課題本にはたくさんの付箋やしおりが挟まれていて、さらに関連書物を持参されている方も。今回は皆さんしっかり読み込んで参加されているようでしたが、読み切れなくても参加大歓迎だそうです。



「今後はいろいろな団体と交流を深め、岩国を元気にしていきたい。」と代表の皆さんからお話を伺いました。次回、3回目の読書会は7月22日(金)19時~20時。岩国まちなか倶楽部交流ホールで開催されます。課題本は『イチロー流 準備の極意』(児玉光雄 著)。

●お問い合わせ&お申込み●

は ろ ん
学びと集い 場lon

代表 岩田 寛子 さん

MAIL: baloniwakuni@gmail.com

HP: <http://ba-lon.wix.com/mysite>

市民活動団体のイベント情報



講演会「だいじょうぶのタネをまこう」～西野流“ゆる親のすすめ”～

見すぎない・比べない・先回りしない。失敗してもいいんだよ。子ども親も。

- 日時：平成28年7月10日(日) 開場13:00 開演13:30～16:00
- 場所：サンライフ岩国 2F 会議室
- 講師：西野 博之 氏 (神奈川県NPO法人フリースペースたまりば 理事長)
- 参加費：前売り券 1,500円 (当日券 2,000円)
- 託児：300円/人 (保険料含む)
- 問合せ：チャイルドライン岩国ステーション TEL0827-28-5051



「日米交流クッキング」

お好み焼きとみたらし団子を作りながら、簡単な英会話で、お互いの言語や理解を深めましょう。

- 日時：平成28年7月24日(日) 10:45～13:00
- 場所：愛宕供用会館
- 参加費：1,500円 ●託児：無料
- 問合せ：岩国日米交流イベント実行委員会 TEL070-4125-3730



支援センターからのお知らせ

「岩国のへえ～」第2弾 発行しました！

この度、「岩国のへえ～」の冊子、第2弾が完成しました！

今回で“73の巻”を迎える当誌の人気コーナー「岩国のへえ～」は、地元岩国の歴史にまつわるトリビアなエピソードを紹介し、読んでいてほっとできるような、読み物コーナーから始まりました。

2004年6月発行の当誌14号から掲載し、2011年に第1弾を発行しました。

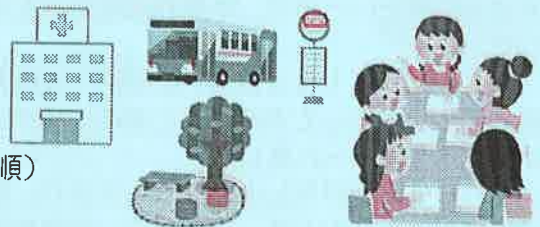
これからも、読者の皆さんに「岩国に住んでいても知らなかった！へえ～」と言っていたような面白い情報をたくさん取り上げていこうと思います。

当センターに置いてあります。是非、お手にとってご覧ください。



市民活動さぽーと講座 子育てマップを作ろう！～子育てに便利な地域マップを作ろう～

- 日時：平成28年7月15日(金) 10:00～12:00
- 場所：岩国市中央公民館 第5講座室
- 講師：阿須賀 芳恵さん (子育て雑誌 副編集長)
- 参加費：無料 ●対象：岩国市民 ●定員：30人 (先着順)
- 託児：あり 無料 (先着10人)
- 内容：講師をお呼びして「地域の知りたいなと思うことが載っている子育てマップ」冊子作りについてお話しいただきます。ますますグレードアップする講座を是非お楽しみください！



地域コミュニティ活動支援備品貸出しをしています

「参加と協働による個性あるまちづくり」を推進するため、地域コミュニティ活動及び市民の自主的な社会貢献活動の促進に資することを目的として、市が所有する備品を市内で活動する団体に貸出しをしています。

岩国市地域コミュニティ活動支援備品借受申込書をいわくに市民活動支援センターに提出して頂き、市の承認を受けた上で貸出しをしています。

営利を目的とした団体、政治活動、宗教活動のために使用する場合、特定の公職にある者もしくはその候補者は貸出しが出来ません。貸出期間は5日以内。

貸出備品：プロジェクター・スクリーン・電工ドラム・ポータブルワイヤレスアンプ・アンプシステム等





助成金ニュース

①内容、対象②助成金額、件数③締切④問合せ先
*詳しくは、センター又は各問合せ先までお願いします。

Panasonic NPO サポートファンド

- ① 環境分野…環境問題に取り組む活動など 子ども分野…子どもたちの健やかな育ちを応援する活動など
- ② 1団体上限200万円(ただし組織診断フェーズのみの取り組みの場合は上限100万円)
- ③ 平成28年7月14日(木)～平成28年7月29日(金) 必着
- ④ パナソニック株式会社ブランドコミュニケーション本部 CSR・社会文化部 TEL:03-3574-5665

県民活動支援事業助成金

- ① 県民活動団体(ボランティア活動団体)の自主的・主体的な活動を支援することにより地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする
- ② 10万円以内(1千円単位)
- ③ 平成28年9月30日(金)
- ④ 一般財団法人山口県巖島会 TEL:083-933-2267 FAX:083-932-6858

グローバルやまぐち国際活動支援事業費補助金

- ① 国際交流事業…県民と外国人との交流・国際理解の促進・本県在住外国人への支援事業
国際協力事業…発展途上国に対する生活・医療・教育及び技術協力などの援助
- ② 事業経費の1/2以内(限度額10万円)
- ③ 平成28年7月1日(金)～平成28年8月31日(水)
- ④ 公益財団法人山口県国際交流協会 TEL:083-925-7353 FAX:083-920-4144



岩国のへえ～ 73の巻



フランシスコ・ザビエルも岩国を訪れていた!

フランシスコ・ザビエルは、キリスト教を日本に布教した人物として有名です。天文十八年(1549年)鹿児島に上陸し島津貴久に謁見した後、福昌寺の住職である^{ひらじ}忍室と交流を深め、多くの信者を得ることに成功しました。ザビエルは天皇、将軍、大名、公家など、さらに多くの人々にキリスト教の意義を説きたいと考え、中央から地方へとキリスト教の伝道を行おうとしました。

天文十九年(1550年)に平戸(長崎県)を出発し、年末には山口に到着しました。そして大内義隆と面会。しかしザビエルは義隆を激怒させてしまい退席を命じられました。

それから都を目指し山口を離れますが、危険な陸路を避けて岩国から海路で上陸を試みたのです。結果的に、海路を選択したことで戦乱の危険を避けることができたのかもしれませんが。

一度は激怒した大内義隆ですが、翌年再び山口を訪れたザビエルを歓待し、キリスト教の布教を許可したそうです。

参考文献:あなたの知らない山口県の歴史

編集後記

後継者づくりには、しっかりと事業を引き継ぎ、人材育成する事がとても大切になるようです。

後継者の努力だけでなく、前任者にも人の力量を見抜く力・覚悟・自覚など、様々な能力が必要になります。さらに、変わりゆく時代に乗り遅れず臨機応変に対処する力も重要です。

後継者づくりに良い環境は欠かせませんが、何より良い環境を作ろうとする一人ひとりの意志が、とても重要になるという事です。

支援センター利用状況(5、6月)

- ・印刷、コピー、大判プリンター 262件
- ・相談 64件
- ・登録団体数 80団体(のべ数)

発行: いわくに市民活動支援センター

〒741-0062 岩国市岩国 4-4-15
(岩国市中央公民館3階)

TEL: 0827-44-0288 FAX: 0827-44-0324

E-mail: shien@sky.icn-tv.ne.jp

HP: <http://www.iwakuni-shien-center.com/>

Facebook: <https://www.facebook.com/iwakunishien>